

平成 29 年度 海外短期研修(夏期) 募集要項

研修名	募集定員	研修先	研修期間	研修実施機関
1. イギリス 夏期英語研修	10 (最小催行人数 10 名)	ロンドン大学 アジア・アフリカ学院	3 週間	School of Oriental and African Studies (SOAS), University of London International Foundation Courses & English Language Studies (IFCELS)
2. オーストラリア 夏期英語研修	15 (最小催行人数 10 名)	マッコーリー大学 英語センター	4 週間	Macquarie University English Language Centre
3. タイ 夏期英語研修	16 (最小催行人数 10 名)	チェンマイ大学 語学研修センター	4 週間	Chiang Mai University Language Institute
4. 夏期 ドイツ語研修	8 (最小催行人数 8 名)	ウィーン大学 語学センター	3 週間	Sprachenzentrum der Universität Wien
5. 夏期 フランス語研修	8 (最小催行人数 8 名)	リヨン・カトリック大学 付属語学学校	4 週間	Université Catholique de Lyon Institut de Langue et de Culture Françaises (ILCF)

【海外短期研修説明会】

4 月 18 日(火) 12:10 - 12:50 場所: 南大沢キャンパス 1 号館 120 号(予定)

各研修の概要、応募手続等について説明を行います。(事前申込不要。入場の際は学生証を提示のこと。)

【海外短期研修報告会】

4 月 25 日(火) 12:10 - 12:50 場所: 国際交流会館 大会議室

前年度イギリス、オーストラリア、タイの夏期英語研修及び夏期ドイツ語研修に参加した学生が、授業や現地の生活の様子、自由時間の過ごし方等を報告します。報告会終了後は、前年度の派遣学生に直接研修の様子を質問することもできます。(事前申込不要。入場の際は学生証を提示のこと。)

(新しく実施する夏期フランス語研修については、説明会を別途実施します。)

応募にかかる手続き

【応募資格】

1. 本学学部又は大学院の正規課程に在学する学生(休学者を除く)であること。
2. 語学力を高めるという目的意識を持ち、積極的にプログラムに参加する意志があること。
3. イギリス夏期英語研修応募者は、応募時に中級レベル(IELTS 5.5、TOEFL-IBT76、TOEIC 620、英検準 1 級等)程度の英語力を保持すること。

【障がい等を有する応募志願者の事前相談】

本海外短期研修に応募を志願する者で、障がい等を有する等、研修参加にあたり特別な配慮を必要とする者は、4 月 18 日(火)までに国際課(南大沢キャンパス)に相談して下さい。

【募集期間】(エントリーメール・応募書類受付)

4 月 19 日(水) ~ 5 月 10 日(水) 17:00 まで

【応募書類提出先及び受付時間】

国際課(南大沢キャンパス) / オフィスアワー: 月 ~ 金 9:00 - 17:45 (12:30 - 13:30 を除く)

※日野・荒川キャンパス所属の学生は、各々のキャンパスの学務課教務係窓口で提出することも出来る。

【応募書類】

- ① 参加申込書【様式 1】: 写真(4x3cm)添付(裏面に氏名を記入のこと)
- ② 志望理由書(兼・研修計画書)【様式 2】志望動機及び研修計画を述べること。(800 ~ 1000 字以内)
- ③ 時間割表(平成 29 年度前期)【様式 3】
- ④ 同意書【様式 4】
- ⑤ 受験票【様式 5】
- ⑥ 成績通知書

在学生(学部・大学院)は、所属する課程(学部・博士前期・博士後期)の平成 28 年度後期までの全ての成績を含むこと。「CAMPUS SQUARE for WEB」の「成績通知書照会」を確認し、印刷して提出すること。

新入生(学部・大学院)は、所属する課程の履修登録確認表を提出すること。

- ⑦ パスポート(コピー) ※パスポート未取得又は残存期間が不足する場合は、派遣学生に決定次第、パスポートの発給を申請すること。この際、パスポート発給までに要する時間に注意すること(新規発給申請時の必要書類の一つである戸籍謄本又は抄本(原本)は、本籍地のある市区町村の役所で発行される)。

タイ夏期英語研修派遣者はビザを取得する必要があるため、派遣決定後、至急パスポート発給申請(又は更新)手続きを行うこと。

- ⑧ 学生証(コピー)
- ⑨ 健康診断証明書(コピー) ※本学医務室発行のもの(無料)。応募時点で証明書が未発行の場合は、受領次第提出のこと。
- ⑩ 語学能力証明書(コピー)

イギリス夏期英語研修に応募する者は、過去 2 年以内に受験した英語能力試験のスコア(IELTS、TOEFL-iBT、TOEIC、英検等)が記載された証明書を提出すること(※前述の「中級レベル」程度の英語力を証明するスコアを保持しない場合は応募を受け付けない)。他の英語研修に応募する場合も、語学能力証明書を保持している者はコピーを提出すること。

- ⑪ エントリーメール

以下の情報を 4 月 19 日(水)以降、かつ応募書類提出前に送信すること。なおエントリーメールの送信は、下記のとおりで申請したアドレスから行うこと。海外短期研修にかかる大学からの連絡もそのアドレスに対して行う(重要事項を含む)ので注意すること。従って、メールアドレスおよび携帯電話番号を変更した場合は、直ちに国際課まで連絡すること。

送信先: <shortdoc@jmi.tmu.ac.jp>

メール件名: 海外短期研修(夏期)、漢字氏名 (例: 海外短期研修(夏期)、首都太郎)

メール本文: ①漢字氏名 ②ローマ字氏名(大文字表記、名前→苗字の順でパスポートと同じ綴り) ③学修番号 ④所属 ⑤学年 ⑥携帯電話番号 ⑦携帯メールアドレス

⑧首都大学東京アドレス(XXX-XXX@ed.tmu.ac.jp)又はPCメールアドレス

(例: ① 首都太郎 ② TARO SHUTO ③ 12345678 ④ 都市教養学部人文・社会系社会学コース ⑤ 1年⑥ 080-1234-5678 ⑦ shutotaro@ezweb.co.jp ⑧ shuto-taro@ed.tmu.ac.jp)

【応募書類作成及び提出にかかる注意】

1. 海外短期研修(夏期)において参加を希望する研修が複数ある場合は、併願することができる。併願を希望する場合は、平成 29 年度海外短期研修(夏期)申込書の応募研修の欄に 1~5 の希望順位を記入すること。但し、イギリス夏期英語研修を併願する場合は、中級レベル(前述)程度の英語力を保持することが求められる。

2. 全ての提出書類は手書きの上、黒色のボールペン又は耐水性ペンで記入すること。
3. 【様式 1～5】は、国際センター・国際課ホームページの、**新着情報のご案内**
 < <http://www.ic.tmu.ac.jp/index.html> > からダウンロードすることも出来る。
4. 全ての提出書類は、各自コピー1部を控えとして保管しておくこと。

【受験番号の通知】

南大沢キャンパス国際課窓口にて応募書類を提出した学生は、**受験票【様式 5】**に受験番号を記載する。
日野・荒川キャンパス学務課教務係窓口にて応募書類を提出した学生には、**5月12日(金)17:00**までに、**電子メールにて受験番号を通知する。**
 万一、期限までに受験番号通知が届かない場合は、< shortdoc@mj.tmu.ac.jp >まで問い合わせること。

【派遣学生の決定】

応募者数が各研修の募集定員を超えた場合は、抽選の上、派遣学生を決定する。

【派遣学生発表】

5月15日(月) 17:00

国際センター・国際課 ホームページへの掲載(**新着情報のご案内** < <http://www.ic.tmu.ac.jp/index.html> >)
 及び国際課前(南大沢キャンパス国際交流会館1階)にて掲示により発表する。

【帰国後に提出する書類】

海外短期研修報告書及びアンケート(※詳細については、第3回オリエンテーションで説明する。)

【海外短期研修経済支援金】※給付型(返済の義務はありません)

本研修における経済支援金給付の詳細は、首都大学東京海外短期研修実施要項で定められている。
 また、派遣学生は、1. **経済支援金受給に必要な振込口座登録**、2. **全ての説明会やオリエンテーション等への出席**、3. **研修開始前・後の英語能力測定試験の受験**(夏期ドイツ語研修及び夏期フランス語研修派遣者は対象外)、
 4. **大学が求める海外短期研修報告書及びアンケートの提出**の全てを履行した後に、海外短期研修経済支援金を受給することができる。なお、以下の通り、経済支援金の金額は研修により異なる。

プログラム	経済支援金	プログラム	経済支援金
イギリス夏期英語研修	100,000 円	夏期ドイツ語研修	80,000 円
オーストラリア夏期英語研修	80,000 円	夏期フランス語研修	80,000 円
タイ夏期英語研修	60,000 円		

【派遣学生決定後の予定】

日時	内容	場所
5月22日(月)18:00-19:00	OSSMA(海外安全危機管理サービス)説明会	国際交流会館大会議室
5月22日(月)～5月26日(金) 昼休み	第1回オリエンテーション (研修の説明及び旅行申込手続)	国際交流会館中会議室
5月24日(水) 18:00-19:30	CASEC※研修開始前英語能力測定試験	南大沢キャンパス
6月中旬	研修申込金振込	—
6月26日(月)～6月30日(金) 昼休み	第2回オリエンテーション (研修における学習面の準備)	南大沢キャンパス
7月初旬	研修費残金振込	—
8月14日(月)イギリス・ドイツ語 8月15日(火)オーストラリア・タイ 8月16日(水)フランス語	第3回オリエンテーション (研修参加前の渡航案内・危機管理)	国際交流会館中会議室

8月～9月 海外短期研修		
10月上旬	海外短期研修報告書・アンケート提出	—
10月中旬	CASEC 研修終了後英語能力測定試験	南大沢キャンパス
10月11日(水)～10月17日(火)	フィードバック・ミーティング	南大沢キャンパス
10月下旬	経済支援金支給	—

※CASEC < <http://casec.evidus.com/> >

【応募にあたっての注意】

- ① 研修費用は、派遣学生数の増減、為替レートの変動等により変更される場合がある。
- ② 応募者は、保証人の同意を得たうえで、同意書を提出すること。申込時に未成年の場合、保証人は保護者とする。
- ③ 応募資格について確認が必要な場合は、海外留学相談室または国際課で事前に相談すること。
- ④ 派遣学生に決定した後は、理由の如何にかかわらず辞退することはできない。
- ⑤ 研修先が所在する国の治安・状況によっては、大学が研修の中止、又は研修中であっても、途中帰国を決定する場合がある。これらの事態が生じることを理解し、万一の際は大学の決定及び指示に従うこと。
- ⑥ 派遣学生は、病気・事故・事件等の万一の場合に備え、派遣全期間(自宅出発日から帰宅日まで)に及ぶ、本学の指定する補償内容(治療・救援(者)費用 1億円以上のプラン)の**海外旅行保険**及び日本エマージェンシーアシスタンス(株)の運営する**海外安全危機管理サービス**(OSSMA: Overseas Students Safety Management Assistance)に加入すること。また、上記の海外旅行保険の保険証券(コピー)を、渡航前に国際課長に提出すること。
- ⑦ 日本国籍を有する派遣学生は、渡航前に外務省の運営する海外旅行登録システム「たびレジ」に登録を行わなければならない。
日本国籍を有しない派遣学生は、渡航前に「たびレジ」の「簡易登録」を行わなければならない。
- ⑧ 派遣学生は、全てのオリエンテーション(研修前)、フィードバックミーティング(研修後)の出席、研修前・後に実施する英語能力測定試験を受験すること。(夏期ドイツ語研修及び夏期フランス語研修派遣者は対象外)
- ⑨ 応募者多数の場合、以下に該当しない学生が抽選に於いて優先される。
 - 国費外国人留学生
 - 東京都アジア人材育成基金及び東京都都市外交人材育成基金により受け入れられた外国人留学生
 - 過去に実施した海外短期研修(春期・夏期)に参加した学生
- ⑩ 海外短期研修(夏期)は併願(第1希望から第5希望まで選択可)することができる。
但し、**イギリス夏期英語研修**は、中級レベル(前述)程度の英語力を持たない場合は併願できない。

【問合せ先】

国際課(南大沢キャンパス) 担当: 矢口、安
Email: shortdoc@jmj.tmu.ac.jp
月～金: 9:00 - 17:45 (12:30 - 13:30を除く)

イギリス夏期英語研修 (ロンドン大学 アジア・アフリカ学院 (SOAS) IFCELS : ロンドン)

【研修の目的】 本研修は、英語によるコミュニケーション能力をはじめ、グローバルな視野と国際社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。学生自身の関心に応じて選択したサブジェクトコース（専門科目）を受講し、英語により専門的な内容を学ぶことを目的としたプログラムである。

【研修の概要】

- 世界諸地域出身の様々な国籍の学生と共に 3 週間の英語によるサブジェクトコース
(1. Introduction to the Media 2. International Relations 3. Environment & Development 4. Global Business Strategy) を、学生の関心により 1 コース選択する。
講義をはじめディスカッションを中心としたセミナー形式の授業とともに英語の予習・復習のセッションと併せて受講する。(週 18 時間)

<注意> 派遣内定後に提出する研修先指定の出願書類 (SOAS Application Form) と英語による小論文の審査により、サブジェクトコース受講に必要な英語能力に満たないと判断された場合は、アカデミック英語の授業 (English Language Skills) を受講することになる。
- イギリスの政治・経済・文化の中心であるロンドンで学び、世界諸地域からの参加学生との交流を通してグローバルな視野を養うことを目指す。

【期待する研修の効果】

中級レベル (IELTS 5.5、TOEFL-IBT76、TOEIC 620、英検準 1 級等) 程度の英語能力を持ち、英語による専門科目を履修することができる学生を対象とし、英語運用能力の更なる向上をはじめ、将来的には、中・長期の留学に必要な語学能力を習得することを期待する。

【研修実施機関】 ロンドン大学 アジア・アフリカ学院 (SOAS)
International Foundation Courses & English Language Studies (IFCELS)
< <https://www.soas.ac.uk/ifcels/summer/> >

【研修期間】 平成 29 年 8 月 21 日 (月) ~ 9 月 8 日 (金)

【旅程 (22 日間)】

出発 : 平成 29 年 8 月 20 日 (日) 東京・羽田国際空港発
平成 29 年 8 月 20 日 (日) ロンドン着
帰国 : 平成 29 年 9 月 9 日 (土) ロンドン発
平成 29 年 9 月 10 日 (日) 東京・羽田国際空港着

【宿泊施設】 大学寮

【参加費用】 約 600,000 円

- 研修費用 約 310,000 円 (旅行代理店引受レート 1 ￡ = ¥152.00 平成 29 年 3 月 8 日付)
(授業料 ￡1,282.50 宿舍 ￡750.00)
- 航空運賃 約 260,000 円 (燃油サーチャージ、空港税等含む。平成 29 年 3 月 8 日現在)
※派遣学生数によって航空運賃が変動する可能性がある。
- 現地送迎費用 約 7,000 円
- 海外安全危機管理サービス (OSSMA) 個人会費 3,240 円 (1 ヶ月)
- 海外旅行保険 参考 11,320 円 (OSSMA セット型留学保険 B タイプ)

オーストラリア夏期英語研修 (マッコーリー大学 英語センター：シドニー)

【研修の目的】 本研修は、英語によるコミュニケーション能力を磨き、グローバルな視野と国際社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。

【研修の概要】

- マッコーリー大学英語センターでは、各自の英語力に応じて6段階にレベル分けされた4週間の英語コース(週20時間)を受講し、総合的な英語運用能力を高める。
- 英語による特別授業(オーストラリアの自然・環境、社会・文化)の受講を通じ、オーストラリアの自然・歴史・社会・文化について理解を深める。
- 現地の学生(バディ)、ホストファミリーとの交流を通じて、実践的な英語によるコミュニケーション力の向上を目指す。

【期待する研修の効果】

初級から中・上級の英語能力を持つ学生を対象とし、プレースメントテストにより編成されたクラスで「読む・書く・聞く・話す」の4技能を中心に総合的な英語運用能力の向上を目指すとともに、現地の英語話者との日常的な交流を通じて実践的なコミュニケーション能力を高めることを期待する。

【研修実施機関】 マッコーリー大学 英語センター (Macquarie University English Language Centre)
< <http://www.mq.edu.au/study/other-study-options/english-language-courses> >

【研修期間】 平成29年8月28日(月)～9月22日(金)

【旅程(29日間)】 出発： 平成29年8月26日(土) 東京・羽田国際空港発
平成29年8月27日(日) シドニー着
帰国： 平成29年9月22日(金) シドニー発
平成29年9月23日(土) 東京・羽田国際空港着

【宿泊施設】 ホストファミリー

【参加費用】 約460,000円

- 研修費用 約295,000円(参考レート1AUD=¥88 平成29年3月1日付)
(授業料 AUS\$1,552.00、宿舎 AUS\$1,355.00、その他 AUS\$436.41)
 - 航空運賃 約147,000円(燃油サーチャージ、空港税等含む。平成29年3月現在)
※派遣学生数によって航空運賃が変動する可能性がある。
 - 海外安全危機管理サービス(OSSMA) 個人会費 3,240円(1ヶ月)
 - 海外旅行保険 参考13,620円(OSSMA セット型留学保険Bタイプ)
- <その他>
- 電子ビザ申請にかかる費用(実費)

タイ夏期英語研修 (チェンマイ大学 語学研修センター：チェンマイ)

【研修の目的】 本研修は、英語によるコミュニケーション能力を磨き、グローバルな視野と国際社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。

【研修の概要】

- チェンマイ大学語学研修センターにおいて、本学学生の英語レベルに合わせて編成される4週間の英語コース(1.Communicative English Program 2.Oral Presentation & Public Speaking 3.English for Conversation)を受講し(週 約 23 時間)、コミュニケーション力の向上とプレゼンテーションスキルの習得を目指す。
- 課外活動、フィールドトリップ、週末のホームステイ等を通じて、タイの自然や文化にふれ、異文化の生活を体験し、タイの歴史、文化、社会への理解を深める。
- チェンマイ大学の学生(バディ)との交流やホストファミリーとの交流等を通じて実践的な英語コミュニケーション能力を磨く。また、タイ語で現地の人達と挨拶が交わせる程度のタイ語の基礎を学ぶ。

【期待する研修の効果】

初級から中級の英語能力を持つ本学学生を対象に、特別に編成されたスピーキングを中心にしたコースであり、参加学生は2つのレベルのクラスに分けて受講する。また、現地学生とともに学ぶ英語クラスも設けている。本研修においては実践的なコミュニケーション能力を養うとともに、自信を持って英語でプレゼンテーションができるまで英語力を高めることを期待する。

【研修実施機関】 チェンマイ大学 語学研修センター (Language Institute Chiang Mai University)
< <http://www.li.cmu.th/en/> >

【研修期間】 平成 29 年 8 月 28 日 (月) ~ 9 月 22 日 (金)

【旅程 (29 日間)】 出発： 平成 29 年 8 月 27 日 (日) 東京・羽田国際空港発バンコク経由
チェンマイ空港着
帰国： 平成 29 年 9 月 23 日 (土) チェンマイ発バンコク経由
平成 29 年 9 月 24 日 (日) 東京・羽田国際空港着

【宿泊施設】 ホテル及びホストファミリー (週末 2 泊 3 日)

【参加費用】 約 201,000 円

- 研修費用 約 96,000 円 (参考レート 1THB = ¥3.27 平成 29 年 3 月 1 日付)
(授業料、宿舎、フィールドトリップ等 THB 29,120.00)
- 航空運賃 約 88,000 円 (燃油サーチャージ、空港税等含む。平成 29 年 3 月現在)
※派遣学生数によって航空運賃が変動する可能性がある。
- 海外安全危機管理サービス(OSSMA) 個人会費 3,240 円 (1 ヶ月)
- 海外旅行保険 参考 13,620 円 (OSSMA セット型留学保険 B タイプ)

<その他>

- ビザ申請にかかる費用 (実費)

夏期ドイツ語研修 (ウィーン大学 語学センター：ウィーン)

【研修の目的】 本研修は、ドイツ語によるコミュニケーション能力の向上とともに、グローバルな視野と国際社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。

【研修の概要】

- ウィーン大学に併設された語学センターでヨーロッパ言語共通参照枠 (Common European Framework of Reference for Languages: CEFR) に基づく A1～C2 (11 レベル) のクラスで、欧州地域をはじめ、世界諸地域から参加する学生とともに週 15 時間のドイツ語を受講する。
- ドイツ語の特定のスキル向上を目指すための特別クラス (発音、会話、文法 等) の受講も可能である。
- ウィーンをはじめ、オーストリアの歴史、社会、文化への理解を深める。

【期待する研修の効果】

ドイツ語未修者から大学入学準備コースまで、初級から中上級のドイツ語能力を持つ学生を対象としたレベル別のクラス編成による授業を世界諸地域から参加する学生とともに受講し、実践的なドイツ語によるコミュニケーション能力を身につけることを期待する。

【研修実施機関】

ウィーン大学 語学センター (Sprachenzentrum der Universität Wien)

< <http://sprachenzentrum.univie.ac.at/content/site/spzuw/de/home/index.html> >

【研修期間】 平成 29 年 8 月 28 日 (月) ~ 9 月 15 日 (金)

【旅程 (22 日間) 出発 : 平成 29 年 8 月 27 日 (日) 東京・成田国際空港発 ヘルシンキ経由
ウィーン着
帰国 : 平成 29 年 9 月 16 日 (土) ウィーン発 ヘルシンキ経由
平成 29 年 9 月 17 日 (日) 東京・成田国際空港着

【宿泊施設】 大学寮

【参加費用】 約 332,000 円

- 研修費用 約 120,000 円 (旅行代理店引受レート 1EUR = ¥128.00 平成 29 年 3 月 8 日付)
(授業料 EUR460.00、宿舎 EUR 445.00)
- 航空運賃 約 186,000 円 (燃油サーチャージ、空港税等含む。平成 29 年 3 月 8 日現在)
※派遣学生数によって航空運賃が変動する可能性がある。
- 現地送迎費用 約 11,000 円
- 海外安全危機管理サービス(OSSMA) 個人会費 3,240 円 (1 ヶ月)
- 海外旅行保険 参考 11,320 円 (OSSMA セット型留学保険 B タイプ)

夏期フランス語研修 (リヨン・カトリック大学 附属語学学校 (ILCF) : リヨン)

【研修の目的】 本研修は、ヨーロッパ交易の要衝として発展し、ユネスコの世界遺産にも登録されている文化都市リヨンで、フランス語によるコミュニケーション能力（話す・聞く・読む・書く）の習得とともに、フランス語圏の歴史・社会・文化について理解を深めることを目的とする。

【研修の概要】

- 本研修のプログラムは、フランス語を母語としないフランス語学習者を対象としており、世界諸地域出身の学生と一緒にフランス語の授業を受講する。
- ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR) による入門から上級まで、多様なレベルの授業が開講されており、研修開始時にクラス編成テストが実施され、習熟度に応じて受講する。
初級～中級（CEFR レベル A1～B1）の場合、週 20 時間の受講を予定している。
- フィールドトリップなどの文化体験を通じて、フランス及びリヨン周辺地域の歴史・社会・文化について理解を深める。

【期待する研修の効果】

初級から上級まで、レベルごとに学習目標が設定されており、フランス語運用能力の更なる向上や、将来的に中・長期の留学に必要な語学能力を習得することを期待する。

【研修実施機関】 リヨン・カトリック大学 附属語学学校
(Université Catholique de Lyon, Institut de Langue et de Culture Françaises (ILCF))
< <http://www.ilcf.net/en/> >

【研修期間】 平成 29 年 9 月 4 日（月）～ 9 月 29 日（金）

【旅程(29 日間)】 出発： 平成 29 年 9 月 3 日（日）東京・成田国際空港発 アムステルダム経由
リヨン着
帰国： 平成 29 年 9 月 30 日（土）リヨン発 アムステルダム経由
平成 29 年 10 月 1 日（日）東京・成田国際空港着

【宿泊施設】 大学寮

【参加費用】 約 370,000 円

- 研修費用 約 141,000 円（旅行代理店引受レート：EUR1.00 = ¥128.00 平成 29 年 3 月 8 日付）
（授業料 EUR624、宿舍 EUR410、現地送迎費用 約 EUR60、その他 EUR7）
- 航空運賃 約 210,000 円（燃油サーチャージ、空港税等含む。平成 29 年 3 月 8 日現在）
※派遣学生数によって航空運賃が変動する可能性がある。
- 海外安全危機管理サービス(OSSMA) 個人会費 3,240 円（1 ヶ月）
- 海外旅行保険 参考 13,620 円（OSSMA セット型留学保険 B タイプ）

授業時間割表
【平成29年度前期】

学修番号： _____ 氏名： _____

時限／曜日	月	火	水	木	金
1時限 (8:50-10:20)					
号(棟) - 教室					
2時限 (10:30-12:00)					
号(棟) - 教室					
3時限 (13:00-14:30)					
号(棟) - 教室					
4時限 (14:40-16:10)					
号(棟) - 教室					
5時限 (16:20-17:50)					
号(棟) - 教室					
6時限 (18:00-19:30)					
号(棟) - 教室					

同 意 書

首都大学東京 学長 殿

私は、以下の事項 A～C について内容を十分に理解し、同意した上で海外短期研修に応募いたします。

同意年月日 平成 年 月 日

学修番号 _____ 学生署名 _____

保証人は本同意書内の記載事項に同意し、又学生本人が同意事項を遵守することを保証いたします。

保証人署名 _____ (学生との関係: _____)

<事項 A : 参加申込書提出前に特に留意すべきこと>

1. 参加申込者本人ならびに保証人は、共に募集要項を熟読し理解した上で参加申込を行うこと。
2. 派遣学生の決定は、本学が定める方法により、本学が行う。
3. 応募者は、派遣学生に決定後は理由の如何にかかわらず辞退できない。
4. 応募者は、海外短期研修に係る費用について十分理解し、保証人等の経済的負担者の了解を事前に得た上で派遣申込を行うこと。また、研修に係る費用は定められた期日までに支払うこと。
5. 派遣学生は、派遣全期間（自宅出発日から帰宅日まで）に及び、本学の指定する補償内容（治療・救援（者）費用 1 億円以上のプラン）の**海外旅行保険**及び日本エマージェンシーアシスタンス（株）の運営する**海外安全危機管理サービス**（OSSMA： Overseas Students Safety Management Assistance）に加入するとともに、上記の海外旅行保険の保険証券（コピー）を、渡航前に国際課長に提出すること。（更に、上記の海外旅行保険が、研修先の指定する補償要件を満たさない場合は、併せて研修先が指定する保険にも加入すること。）
6. 本学は、語学試験や研修先での成績情報を、試験実施機関や研修先等から取得する。
7. 海外短期研修に係る旅行手配、研修参加費用の請求、その他事務手続きは、主として本学が指定する旅行代理店（以下、代理店という）が行う。
8. 本学は、研修実施及び緊急時の対応に必要な範囲内で、研修先、代理店、宿泊先、運送機関、在外公館、旅行保険会社、危機管理支援サービス会社等へ個人情報を提供する場合がある。
9. 研修派遣生は、研修運営・広報・危機管理等の情報共有のため、研修中の学修や生活情報を本学へ提供し、報告書、報告会及びホームページ等に於いて自身の体験を伝える等の協力をすること。
10. 派遣学生としての責務を怠った、又は派遣学生として適当でないと学長が認めた場合、経済支援金の支給を取り消す場合がある。

<事項 B : 派遣決定後から派遣までに特に留意すべきこと>

1. 出発前から十分な健康管理を行い、既往症等がある場合は、医師の判断に従うこと。
2. 海外短期研修派遣にあたり、出席が義務付けられている説明会やオリエンテーションに、全て出席すること。なお、オリエンテーション等で説明される、研修参加に必要な諸手続きは、自らの責任に於いて行うこと（研修先に提出する各種書類の作成、パスポート及びビザの取得、等）。
3. 日本国籍を有する派遣学生は、渡航前に外務省の運営する海外旅行登録システム「たびレジ」に登録を行なうこと。日本国籍を有しない派遣学生は、渡航前に「たびレジ」の「簡易登録」を行うこと。
4. 英語研修に参加する学生は、研修派遣の前後に、本学が指定する語学試験を受験すること。

<事項 C : 渡航後に受ける拘束 ・ 従わねばならないルール>

1. 研修中は、本学の学生として責任ある行動をし、研修先での学業に精力的に取り組むこと。
2. 研修中は、滞在国の法令、研修先大学の規則及び本学の諸規則を遵守するとともに、研修先の教員や事務担当者等の指示に従い、滞在国の公序良俗に反することのないように注意すること。
3. 研修先が所在する国の治安・状況によっては、本学が研修の中止又は帰国を決定することがあるので、これらの事態が生じ得ることを理解し、万一の際は本学の指示に従うこと。
4. 研修中は、本学が指定する宿泊先に滞在し、本学の上承無しに個人行動は行わないこと。
5. 研修中は、いかなる場合も車両（自転車を除く）の運転は行わないこと。
6. 研修終了後は速やかに帰国し、期限までにアンケートや課題を提出すること。

【様式 5】

上下両方の表の太枠内を、ボールペン又は耐水性ペンを使用して記載し提出すること。

平成 29 年度 海外短期研修（夏期）派遣候補者選考 受験票											
受験番号 (国際課記入欄)	学部 研究科	学科・系 専攻・学域	コース 年次								
	学 修 番 号	氏 名									
	<table border="1" style="width: 100%; height: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 12.5%;"></td> </tr> </table>										
<p>【注意】 この受験票は、海外短期研修（夏期）派遣候補者選考の結果が発表されるまで大切に保管すること。</p>											



国際課控

平成 29 年度 海外短期研修（夏期）派遣候補者選考 受験票											
受験番号 (国際課記入欄)	学部 研究科	学科・系 専攻・学域	コース 年次								
	学 修 番 号	氏 名									
	<table border="1" style="width: 100%; height: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 12.5%;"></td> </tr> </table>										